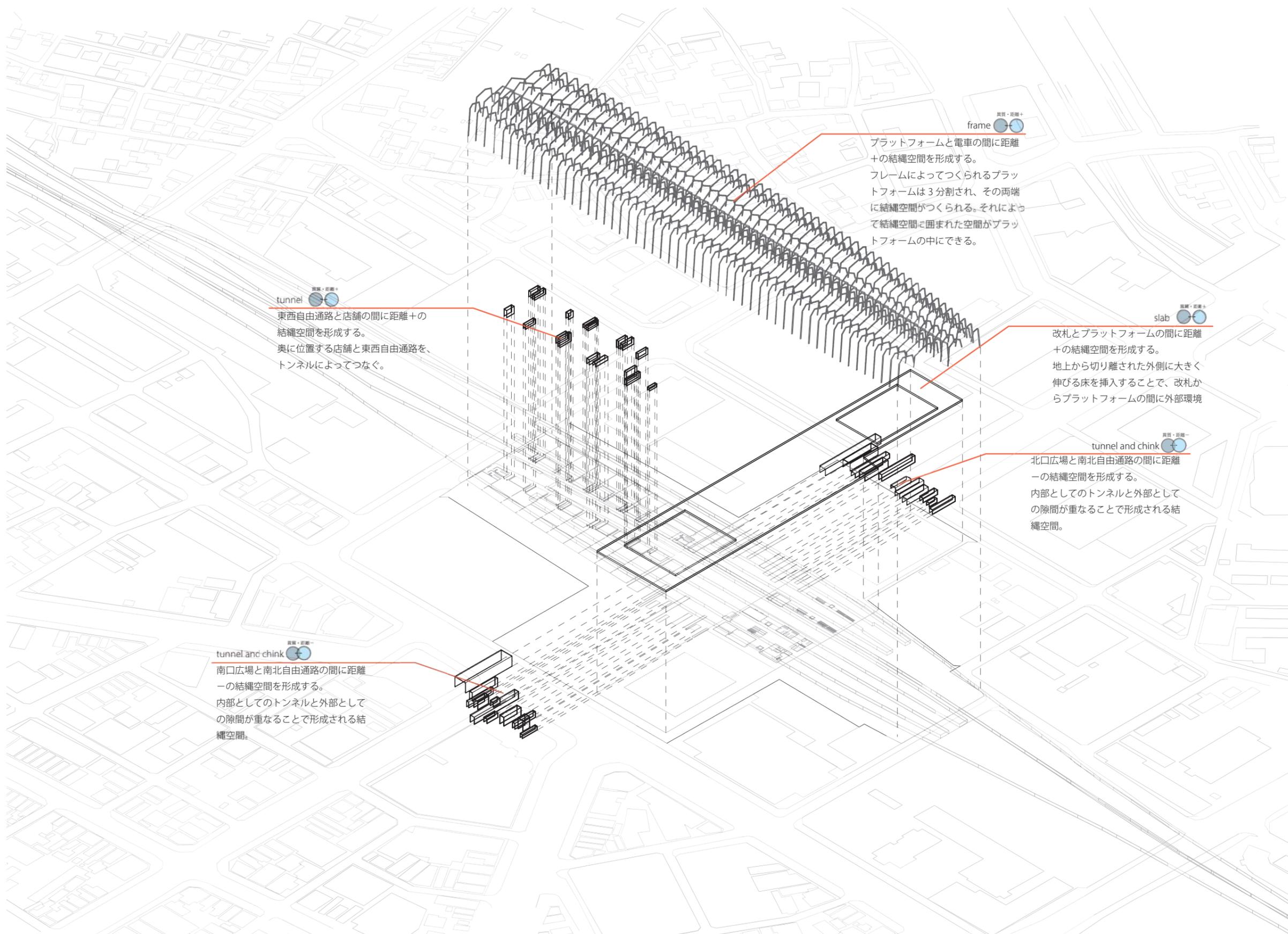


+ through the space

toyama station reconstruction project





axonometric

through the space concept

モダニズムの機能主義は空間と機能を結びつけるものであり、個別の空間それぞれが重視された。それに対してポストモダニズムのときにアルド・ファン・アイクが「空間相互は、双方にとって重要なものを保ちつつ、明確に規定された媒介空間を介して結びつけられるのだ。」と述べ、空間同士を結びつける空間の重要性を主張した。しかし、現代はまだまだつなぐ空間よりもつなげられる空間が優位に置かれる傾向が強い。そこで本論では空間同士のある関係を持ってつなぐ空間を結繩空間と名付け分析し、富山駅において結繩空間に着目した設計を行うことを目的とする。

1. 同質と異質

結繩空間には同質な空間同士をつなぐものと異質な空間同士をつなぐものがある。

同質

異質

2. 結繩空間の持つ距離

結繩空間の持つ距離は3種類あり、それぞれを距離0、距離+、距離-と定義する。

距離0

距離+

距離-

距離0・・・空間同士が接することで形成される結繩空間のことである。その結繩空間は空間同士の接点としてとても薄い状態で見れる。

距離+・・・空間同士が離れることでその間に形成される結繩空間のことである。その結繩空間は空間同士の間にそれらとは異なった空間として挿入されることによって空間同士をつなぐものである。

距離-・・・空間同士が重なることで形成される結繩空間である。その結繩空間は空間同士が重なることで、どちらの空間ともいえない空間となる。

富弘美術館 / ヨコミゾマコト

標記の事例としてヨコミゾマコト設計の富弘美術館が挙げられる。この美術館では円形の展示室同士が接する場所に距離0の結繩空間が形成される。それによって、円形の展示室はひとつながりになっている。



トレド美術館ガラスパビリオン / sanaa

標記の事例としてsanaa設計のトレド美術館ガラスパビリオンが挙げられる。この計画では各展示室の間にキャピティと呼ばれる結繩空間が形成される。それによって、ガラスで仕切られたそれぞれの展示室は離散的につなげられる。



ヴィラ NM / UN スタジオ

標記の事例としてUNスタジオのヴィラNMが挙げられる。床が壁に、壁が床になることでそれぞれの部屋の間結繩空間が形成される。それによって空間同士は床が壁に、また壁が床に徐々に変形していくことでつなげられる。



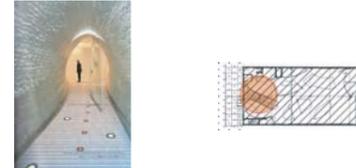
サルラ聖マリア教会 / ジャン・ヌーベル

標記の事例としてジャン・ヌーベル設計のサルラ聖マリア教会が挙げられる。ゴシック時代につくられた教会をマーケットに改装するために、一部分の改装にスチールを用いた計画であり、建物正面の扉もスチールでつくられている。外部と内部の結繩空間であるスチール製の扉がゴシックの教会の内部をマーケットに変更することを可能としている。



コム デギャルソン NY 店 / フューチャー・システムズ

標記の事例としてフューチャー・システムズ設計のコム デギャルソン ニューヨーク店が挙げられる。この計画では入口に設置されたアルミニウム製のトンネルが結繩空間である。その長いトンネルが外部と内部との間に距離を取り、外部から切り離された内部をつくりだしている。

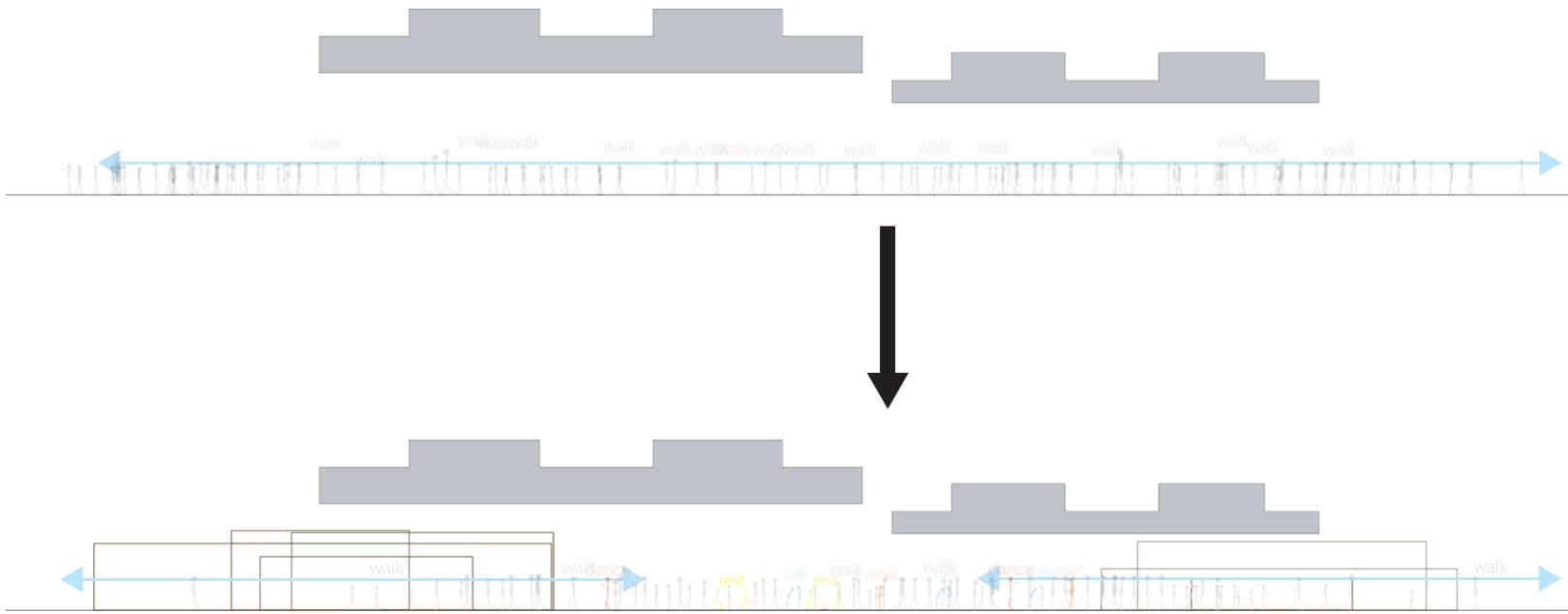


五反田の住宅 / 長谷川 豪

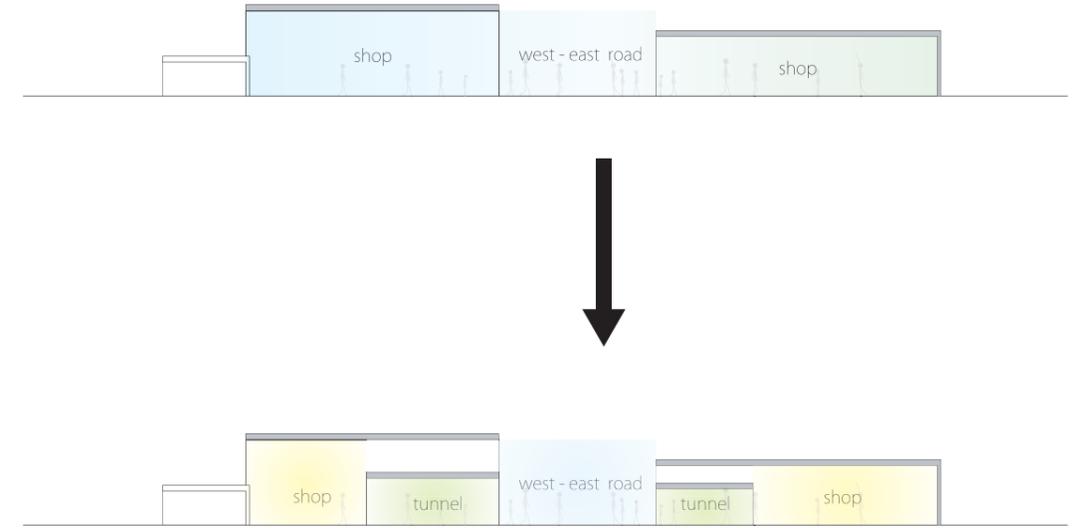
標記の事例として長谷川豪設計の五反田の住宅が挙げられる。この計画では建物の入口の外部と内部の間に天井の高い結繩空間を挿入している。この結繩空間は大きな扉の開閉により、内部にも外部にもなる場所である。それによって、内部空間に多くの外の要素を取り込んでいる。



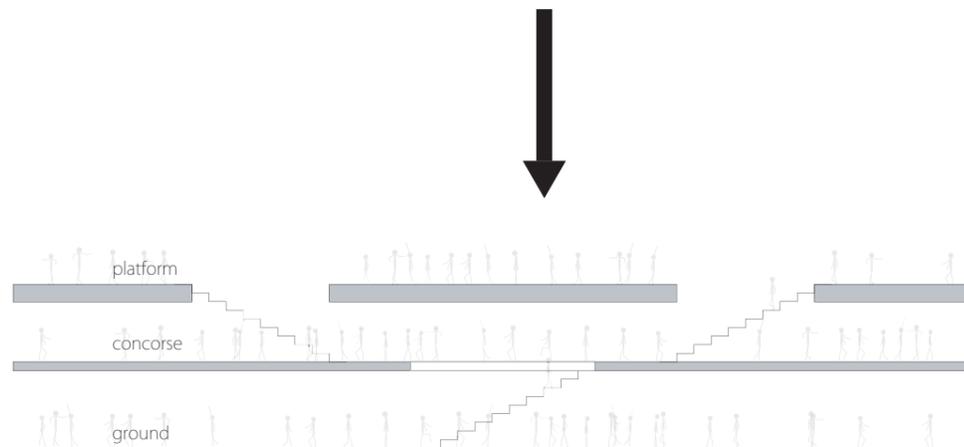
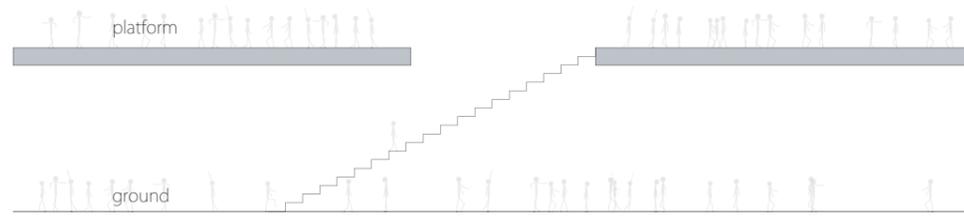
1. tunnel and chink



2. tunnel

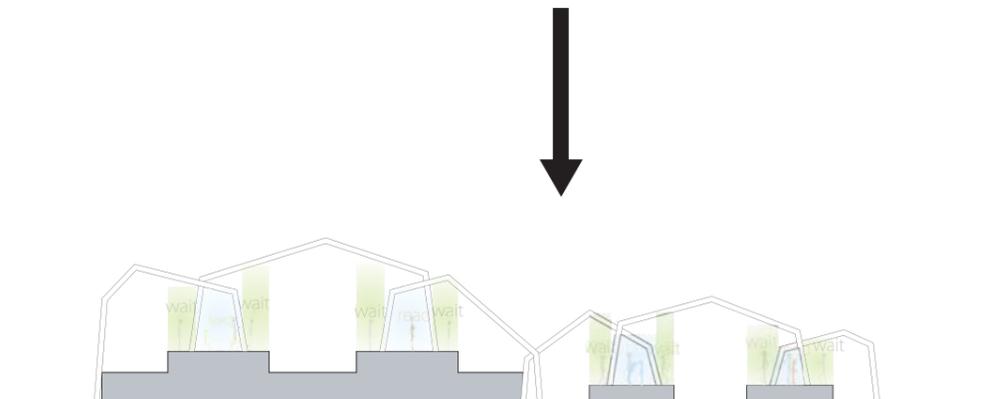
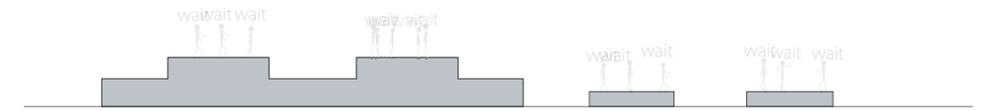


3. slab



d i a g r a m
t h r o u g h
t h e
s p a c e

4. frame





敷地周辺写真



富山駅付近立体交差事業概要図

平成 26 年度の北陸新幹線の開通に伴って JR 富山駅は線路の高架化を行い、駅舎もそれに合わせて建て替える計画をしている。それに伴い駅周辺の整備も行う予定であり、南北をつなげる道路を二経路新設する。また富山市は現在も路面電車が市内を走っており、平成 18 年度からライトレールへの移行が進行中である。駅舎完成のときには現在南北に分かれている路面電車の線路はひとつにつなげられる予定である。

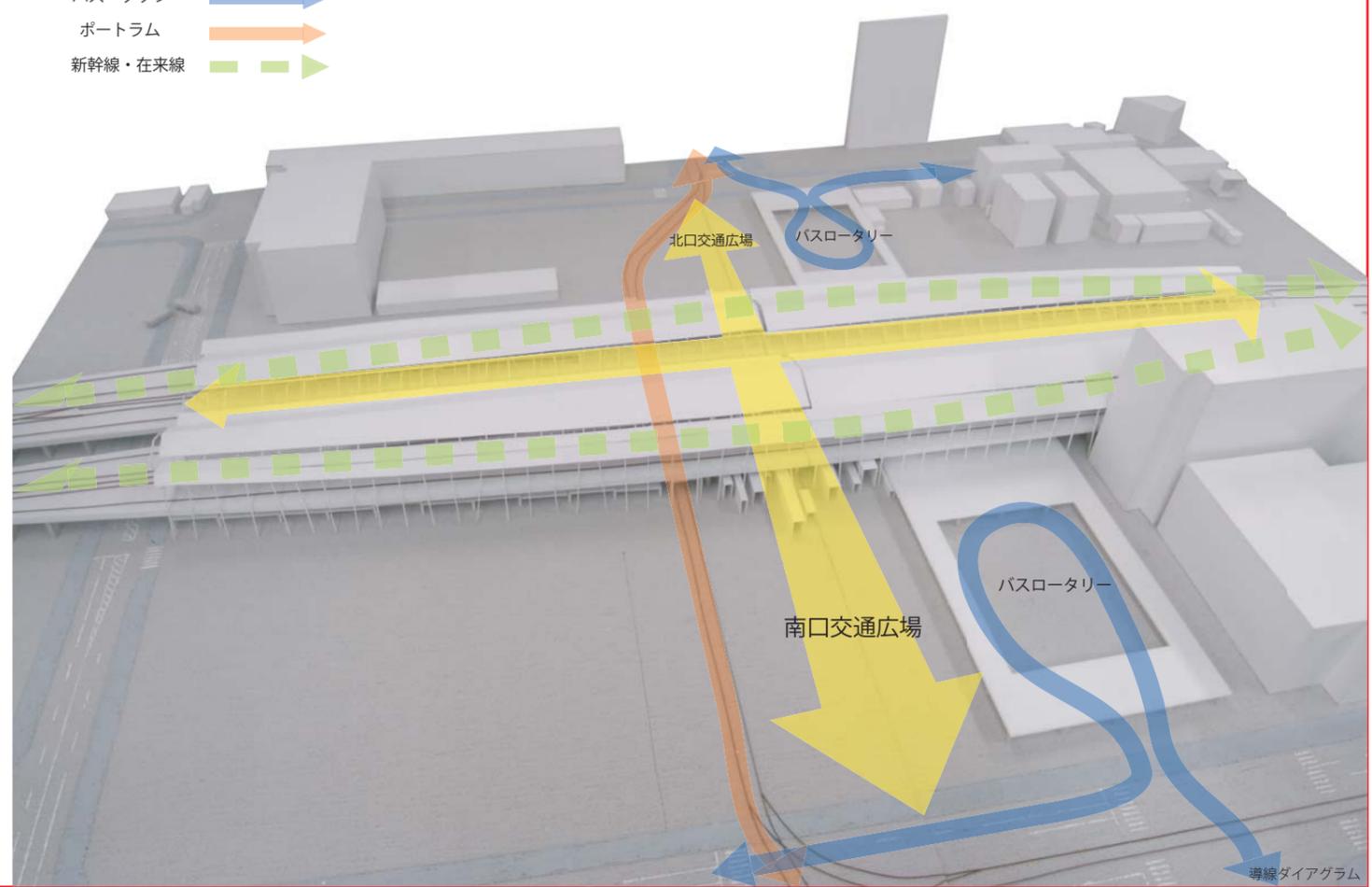
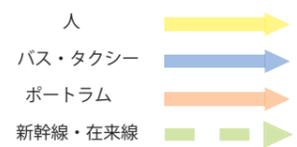
- 敷地概要
- 計画敷地：富山県富山市 JR 富山駅
- 用途地域：商業地域
- 敷地面積：48900 m²
- 建蔽率：80%
- 容積率：500%

北陸新幹線建設事業の概要
 北陸新幹線は東京から長野市や富山市を主な経由地とし、大阪に到る全長 700km の路線である。
 平成 17 年 4 月に富山～金沢間及び福井駅部の工事計画が認可され、長野～金沢は平成 26 年度末までの完成を目指して事業が進行中である。
 これにより、都市間の移動時間が大幅に短縮され、富山～東京間においてはおよそ 1 時間短縮され、約 2 時間 7 分で結ばれます。

- 計画概要
- 区 間：東京～大阪間（約 700km）
- 設計最高速度：260km/h
- 主要な経過地：長野市付近、富山市付近、小浜市付近

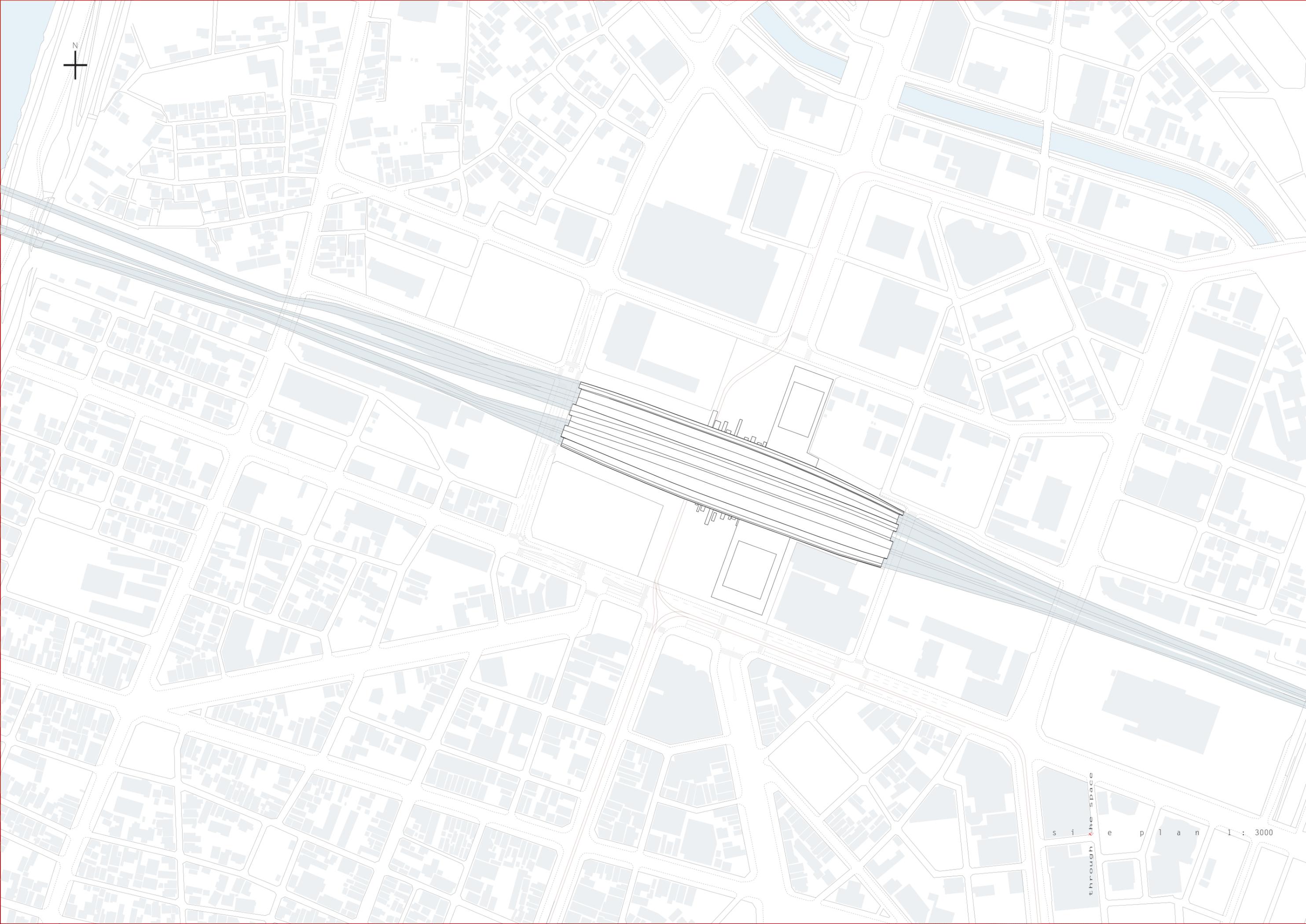
富山駅付近連続立体交差事業の概要
 県都にふさわしい交通拠点の整備や、鉄道によって分断されていた南北市街地の一体化を目的に、在来線を高架化する連続立体事業を行う。整備に当たっては富山港線の路面電車化や、新幹線整備に合わせた施工等により、事業のコンパクト化とコストの縮小を図る。連続立体は段階的に進められていき、平成 26 年度完成を目指している。

- 連続立体交差事業の概要
- 対象線路：JR 北陸本線、JR 高山本線、富山地方鉄道本線
- 事業区間：富山市明倫町～曙町
- 事業延長：約 1.8km（うち高架構造区間 約 1.6km）
- ホーム面数、線数：JR：2 面 4 線 1 切欠
- 地鉄：2 面 2 線



space through the

導線ダイアグラム



through the space
s i e p l a n 1 : 3000

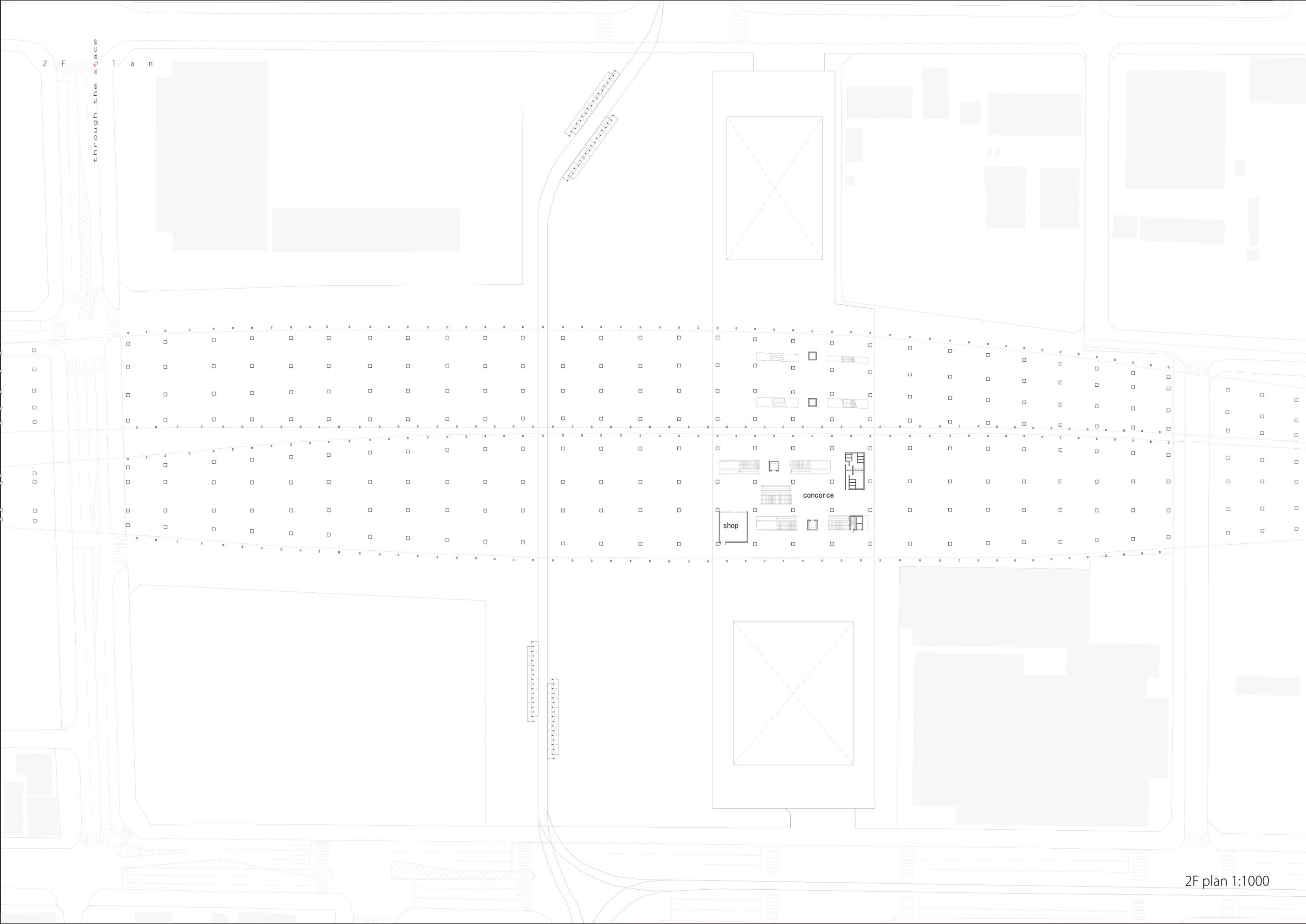
2 F

through the space

1 a n

shop

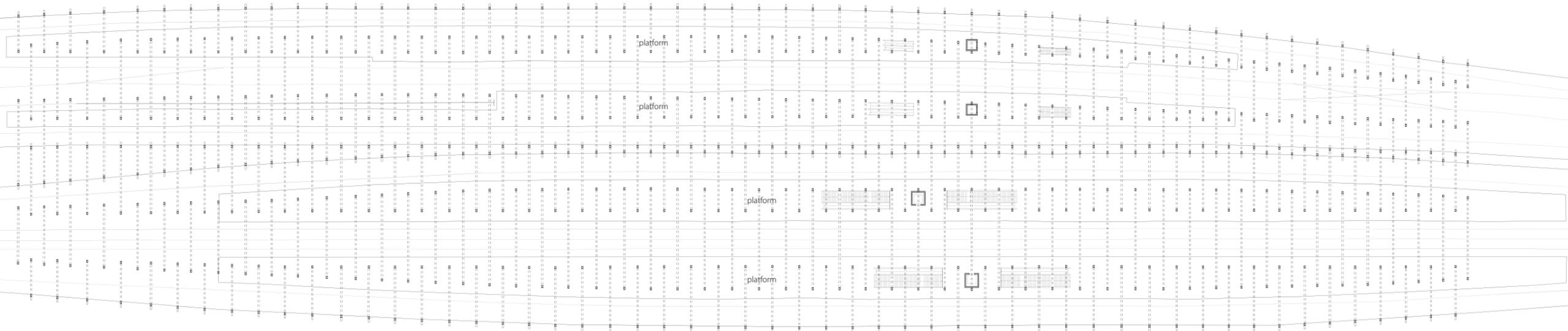
concorce



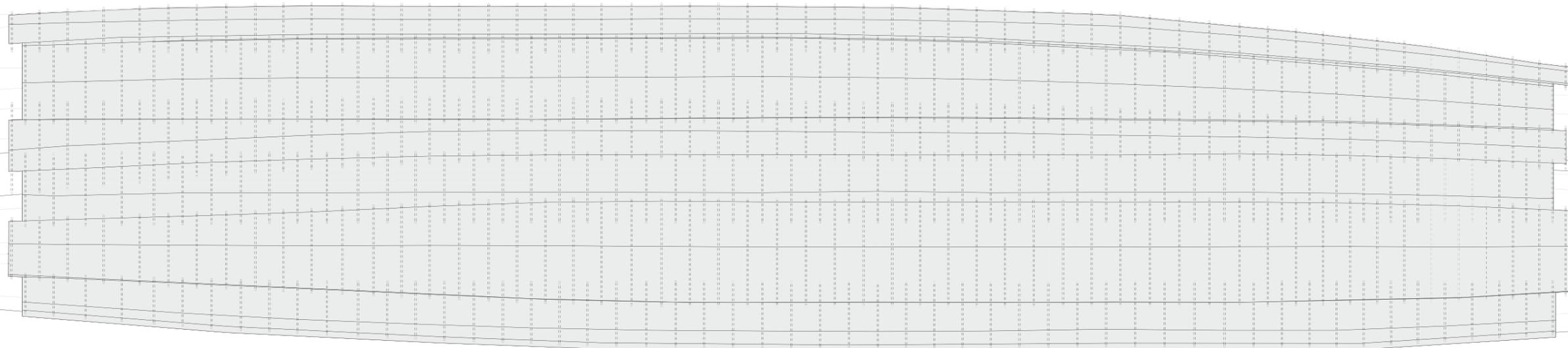
p l a t f o r m p l a n 1 : 1000

r o o f p l a n 1 : 1000

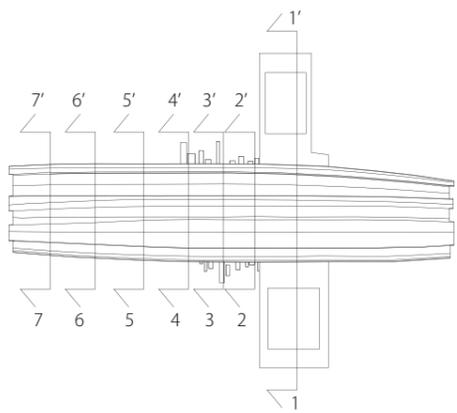
through the space



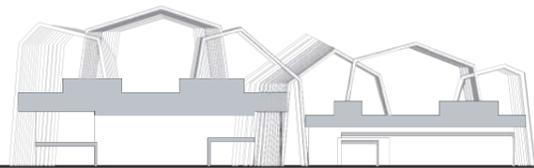
platform plan



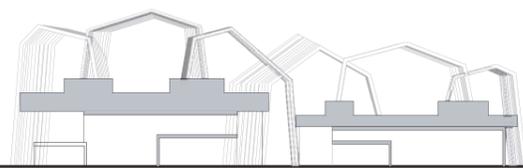
roof plan



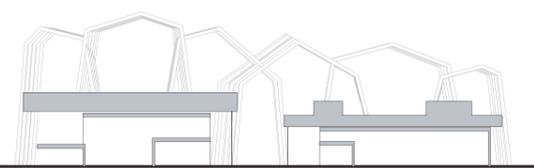
s h o t t h r o u g h t h e s p a c e
s e c t i o n 1 : 1 0 0 0



5-5' section



6-6' section



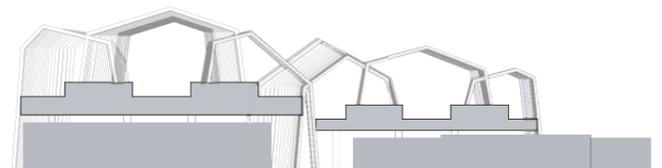
7-7' section



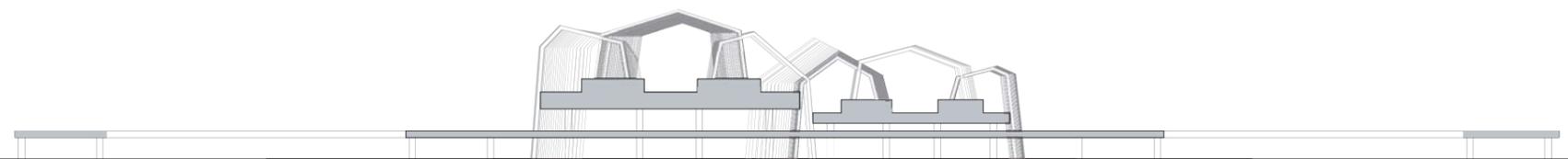
2-2' section



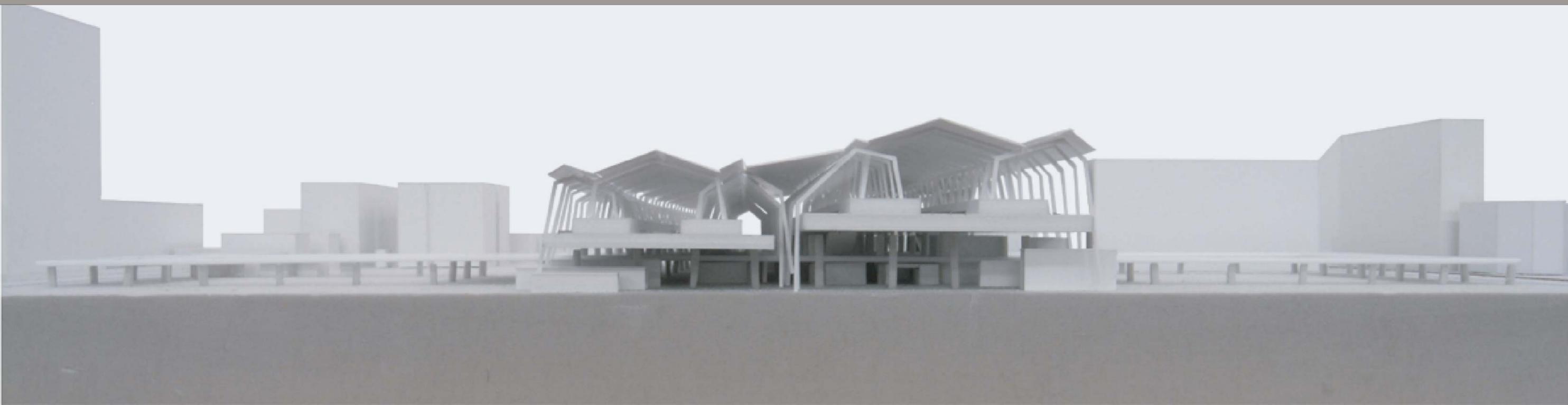
3-3' section

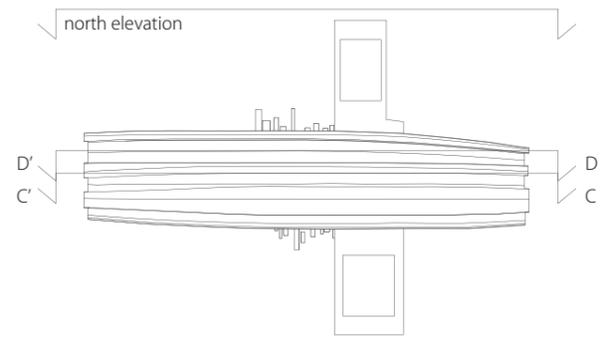


8-8' section



1-1' section



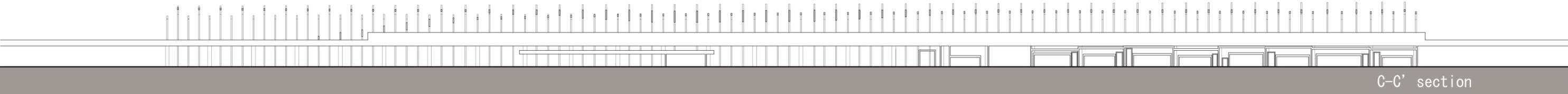
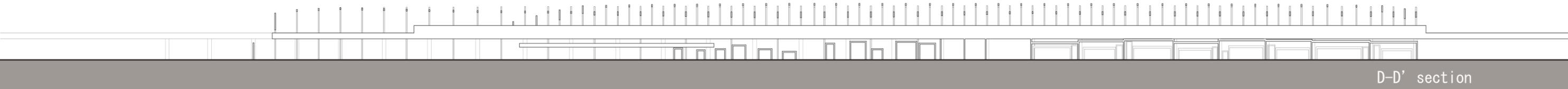
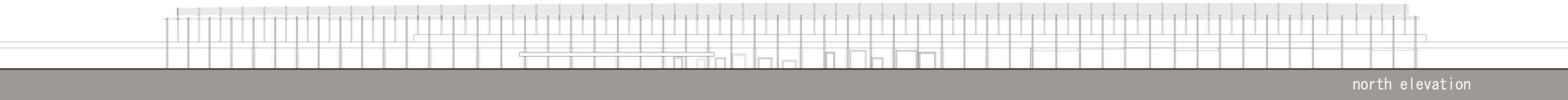


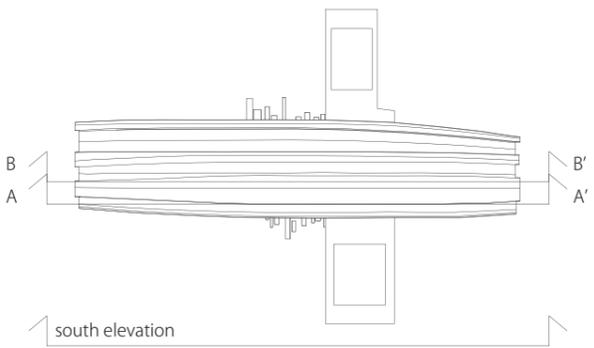
s e c t i o n 1 : 1000

n o r t h e l e v a t i o n 1 : 1000

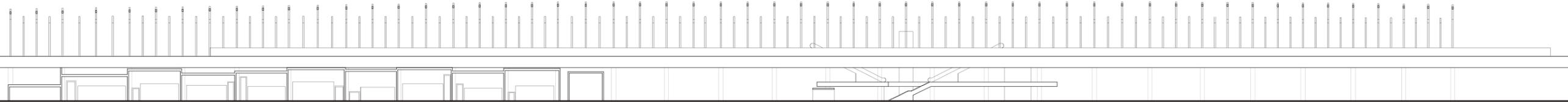
through the space

This text block contains three lines of text. The first line is 's e c t i o n 1 : 1000'. The second line is 'n o r t h e l e v a t i o n 1 : 1000'. The third line is 'through the space', which is oriented vertically and has a red double-headed arrow pointing up and down through the word 'space'.

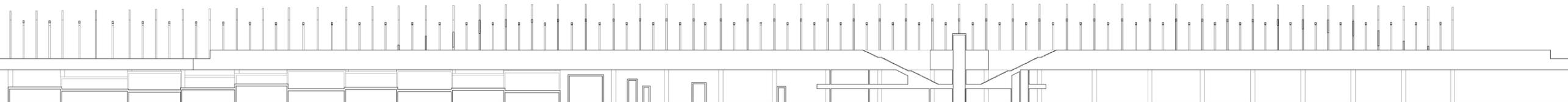




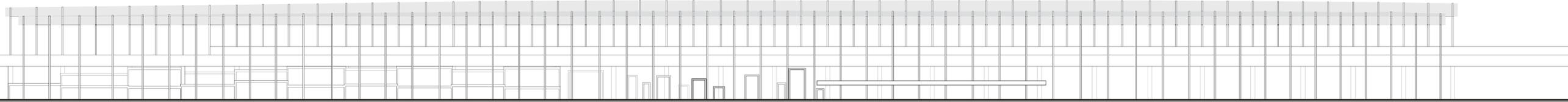
s e c t i o n 1 : 1000
s o u t h e l e v a t i o n 1 : 1000
through the space



B-B' section 1:1000

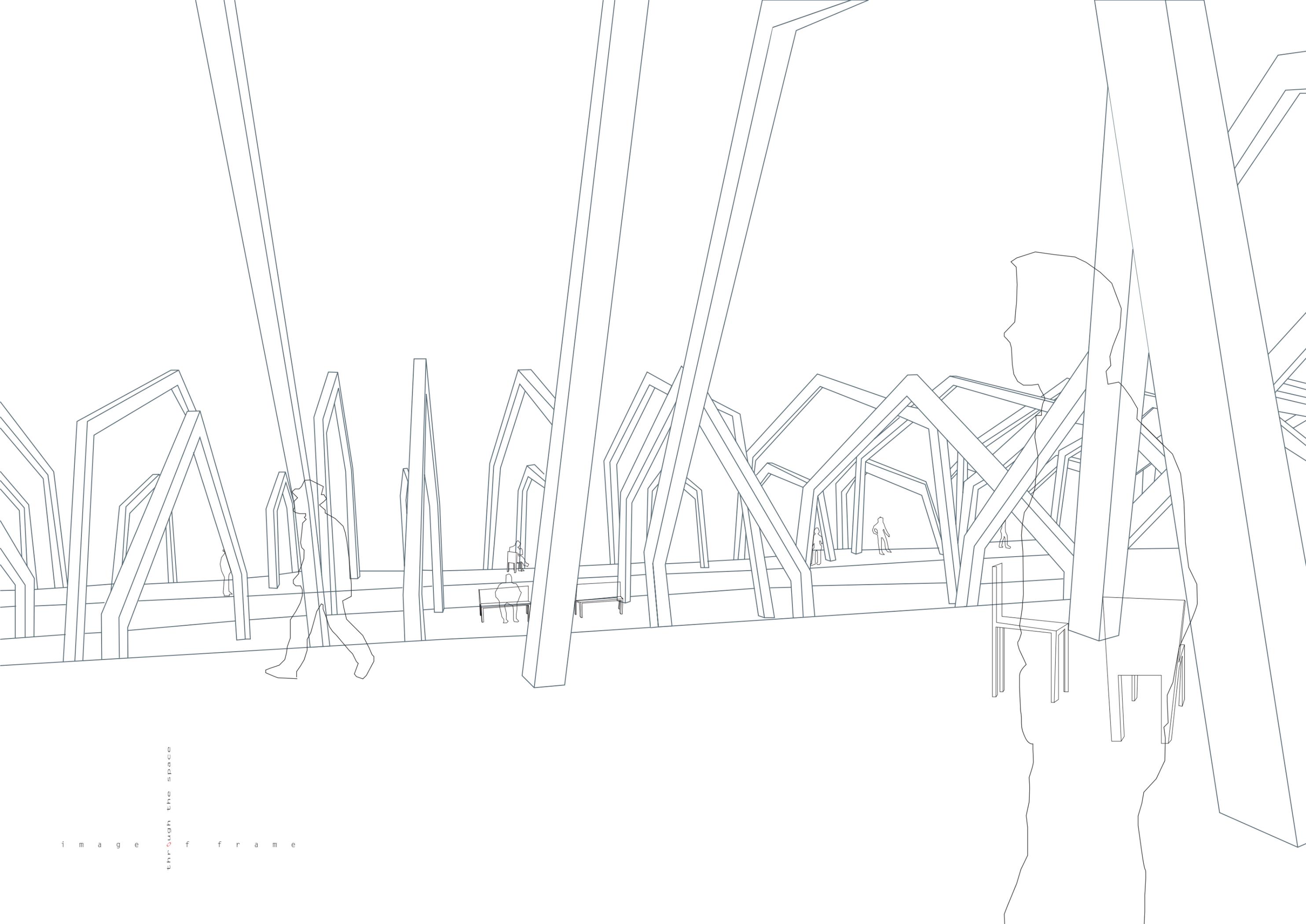


A-A' section 1:1000



south elevation 1:1000





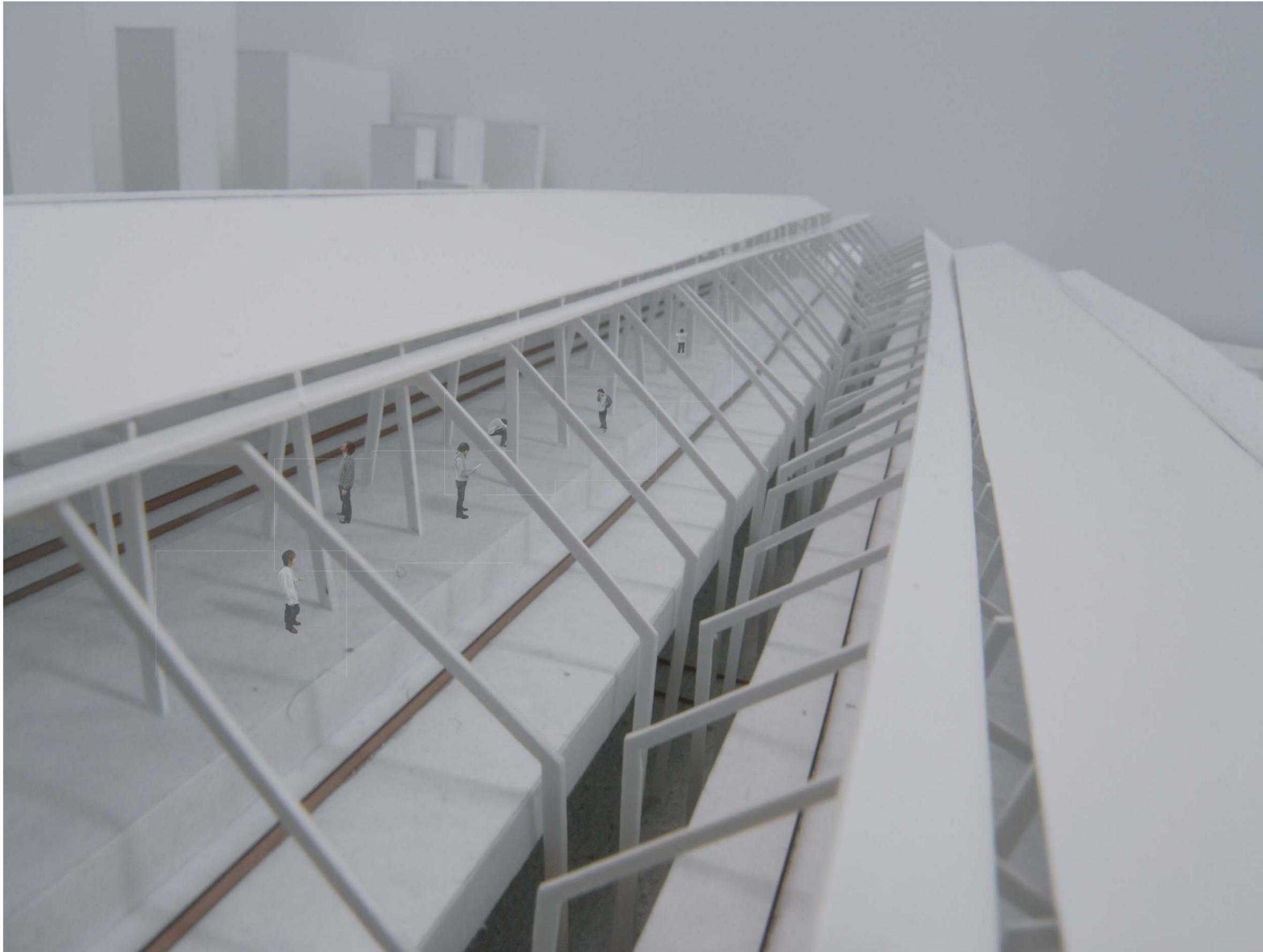
i m a g e f f r a m e

t h r o u g h t h e s p a c e



i m a g e t h r o u g h t h e s p a c e
f e x t e r i o r





k a g a w a (B3)
n i s h i k a w a (B3)
t a n a k a (B3)
t a k a h a s h i (B3)
h o s o i (B3)
n i s h i u r a (B2)
k u b o (B2)
y a m a g a t a (B2)
t a k e t i (M1)
y a m a d a (B4)
k u d o (B4)